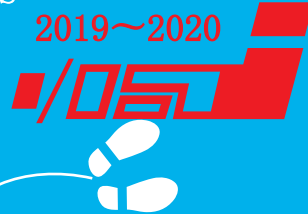




THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS  
JAPAN EAST REGION  
東日本区理事通信



2020.6.30 発行  
第13号

勇氣ある変革、愛ある行動！

Innovation with courage, action with heart!

みんなで力を合わせて、1・2・3

Hop, Step and Jump with all Y'smen

理事  
メッセージ

東日本区理事 山田 敏明 (十勝)



東日本区の皆さま、こんにちは。2019-2020の最後の理事通信をお届けします。この1年間、東日本区理事をさせて頂き、誠にありがとうございました。

私はこの1年間を、濃度の高い、盛沢山な、いわば波乱万丈な時間を過ごすことが出来

ました。人生の中で大変充実した期間でもありました。

東日本区の役員を引き受けてくださった皆さまと、東日本区全員から頂きましたご支援、ご協力に感謝申し上げます。とりわけ、ホームクラブの十勝クラブの皆さんには、たくさんのサポートを頂き、嬉しい限りです。

1年間の事業を振り返りますと、とてもこの文章では言い表しつくせませんが、簡単に列記させていただきます。特に、杜の都仙台にて2019年7月19～21日に開催されました第28回アジア太平洋地域大会は、参加者811名を得、盛大に開催することが出来ました。現地の復興が確実に前に進んでいることを参加者全員が実感することができました。

部大会は、湘南・沖縄部が中止となり、また2つの部が台風19号の影響で開催が延期されたりしましたが、各地を訪問し、皆さまと交流させていただいた事は、貴重な体験となりました。

台風19号・15号被災地支援では、ポジティブネットYMCA募金への連携をさせて頂きました。東日本区からは4,803,848円を送金いたしました。特に、アジア太平洋地域のNDERF(自然災害緊急支援基金)から5,000米ドル、台湾区27,930米ドル、RDEサミット275,000円など、国際の仲間から浄財を頂いたことは心に刻みたいと思います。

「Change!2022」推進委員会が発足し、活発な議論が行われ、また毎月のニュースの発行により、確実

にメンバーに会員増強の必要性が浸透しています。2月のシンポジウム開催で、さらに勢いが増しました。

第23回東日本区大会は中止を余儀なくされましたが、必ずこの状況は克服することでしょう。また皆さんと十勝で再会出来る事を心待ちにしています。

生活スタイルが変わっても、「YMCAを通して、地域社会に奉仕する」私たちの旨は重要です。今後とも、皆さんで力を合わせて、ワイズ活動を進めましょう。年度は変わっても、皆でワイズの灯を燃やし続け、未来につなげましょう。

### 板村新理事へバトンを渡しました

最後の最後になりましたが、6月29日(月)、日本YMCA同盟会館JRM会議室において、藤井寛敏元国際会長の司式のもと、板村哲也新理事に理事バッジとメダリオンを引継ぎました。

式の様子はZoomを通じて東西日本区のメンバーへ実況配信されました。





## 第4回東日本区役員会報告

東日本区書記 山下 真 (+ 勝)

第4回役員会は、6月5日のビデオ会議を軸に開催をされました。

ビデオ会議の出席は議決権者15名中10名、委員長、専任委員、オブザーバーを含め24名の出席でした。審議された以下の議案は書面議決書3名も含めて賛成多数で承認されました。

### ▼第1号議案

「2019-2020 年度東日本区第 3 回役員会議事録承認の件」

### ▼第2号議案

「第1回・第2回東日本区役員会議事録の追加修正について」

### ▼3号議案

「2019-2020年度東日本区年次報告の承認について」

### ▼第4号議案

「2019-2020年度東日本区会計中間決算報告および会計監査報告の件」

### ▼第5号議案

「次期理事、次年度の次期理事、次年度の次々期理事、次期監事候補者指名の件」

### ▼第6号議案

「2020-2021年度前期の区費の徴収を行わない件」

### ▼第7号議案

「プルタブ(プルトップ)収集を終了に関して」

### ▼第8号議案

「東日本区にビデオウェブ会議のツール導入の件」

東日本区においてビデオ会議システムZoomのアカウントを取得する。

### ▼第9号議案

「第23回東日本区大会の中止に係る諸経費の負担について」

中止となった第23回東日本区大会の準備経費を東日本区の負担とする。

### ▼第10号議案

「郵便による臨時代議員会実施の件」

## 2019-2020 年度 年次代議員会報告

東日本区書記 山下 真 (+ 勝)

年次代議員会は第23回東日本区大会十勝大会の中止を受けて、電子媒体による議案審議と採決を基本として行いました。開催基準日は採決期日の6月28日です。

電子採決並びに書面採決に参加された代議員は74名中60名で、以下の議案が賛成多数で承認されました。

### ▼第1号議案

「2019-2020年度東日本区年次報告」

### ▼第2号議案

「2019-2020年度東日本区会計中間決算報告および会計監査報告の件」

### ▼第3号議案

「東日本区常置委員会規則「東日本区ワイズ基金」改正承認」

### ▼第4号議案

「次期理事、次年度の次期理事、次年度の次々期理事、次期監事候補者指名の件」

・次期理事(2020-2021年度理事) 板村哲也(東京武蔵野多摩)

・次年度の次期理事(2021-2022年度理事) 大久保知宏(宇都宮)

・次期監事(2020-2021年度監事) 辻剛(横浜つづき)、漆畑義彦(富士)

次期の次々期理事(2022-2023年度理事)の指名候補者が新型コロナウイルスの感染予防ため指名活動ができていない。臨時代議員会までに候補者を決めたい。

### ▼第5号議案

「第25回東日本区大会ホストクラブ立候補の件」

ホストクラブ:宇都宮クラブ

### ▼第6号議案

「2020-2021年度東日本区理事方針の件」

理事主題「変化をたのしもう！」

副題「助け合い、分かち合い」

### ▼第7号議案

「2020-2021年度東日本区役員の件」

### ▼第8号議案

「2020-2021年度東日本区会計予算の件」

### ▼第9号議案

「2020-2021年度前期の区費の徴収を行わない件」

新型コロナウイルスの収束が見通せない中において区やクラブ活動の自粛傾向が続くと考えられることから、2020-2021年度前期の区費の徴収を行わないこととする。

### ▼第10号議案

「郵便による臨時代議員会実施の件」

## † メモリアル †

例年ですと、東日本区大会において、昨年度の区大会以降に物故された会員を偲ぶ「メモリアルアワー」のひとつを持ちますが、今年度の区大会は中止となりました。しかしながら、ワイズダムに貢献された会員の皆様やメネットを記録に留めたいと思います。

また1994年度の日本区理事を務められた、岡本尚男(おかもとたかお)様(京都キャピタルクラブ)が5月30日に天に召されました。東日本区の研修会や部大会、クラブの周年行事などで度々講演をされ、多くの会員がその薫陶を受けました。今年度の山田理事の主題は岡本さんの理事主題に倣ったものです。謹んでご冥福をお祈りいたします。

### 鎌田 政稔(かまた まさとし)様 川越クラブ



2019年7月1日逝去 享年79

埼玉YMCA川越センターで英語を学ばれていた縁で、1998年のチャーターメンバーとして入会され、最後まで現役の会員として奉仕されました。特に、長年に亘って、川越クラブを代表してアースデイ・イン川越に関わっていただきました。川越クラブの20周年記念の冊子には、“奉仕活動を通してYMCAを支援するという目的は頭に叩き込んでいます。”と記されています。、地元のロータリークラブのメンバーでもあり、川越市との関係も深く、ご自宅が川越YMCAの近くでしたので、貴重なメンバーを失い、非常に残念です。

### 船津 祥(ふなづ あきら)様 宇都宮クラブ



2019年7月20日逝去 享年87

大学卒業後に東京武蔵野クラブに入会。その縁で、1978年宇都宮YMCA設立に中心的に関わり、翌年、宇都宮クラブ設立を果たされました。1982年、東部初代部長として第1回東部部会を宇都宮YMCAで実施。1993年までの4年間、YMCA老人ホーム建設委員長として大任を果たされました。その後14年間、とちぎYMCA理事長を務められました。「愛と奉仕の自由人」を人生後半期のモットーとして、1カ月前までワイズの例会に出席しておられました。

### 庄野 久男(しょうの ひさお)様 東京西クラブ



2019年8月19日逝去 享年100

1976年東京西クラブが設立される際に、東京YMCA杉並ブランチの運営委員長として活躍されチャーターメンバーとなりました。電気通信分野の専門家として先の戦時中に在ってはレーダーその他軍事施設の開発に貢献され、戦後は原子力分野の専門家としても活躍されましたが、原子力開発は自分の生き方にそぐわないとお考えから方向転換され、聴覚障害者のための補聴器を開発される等、各分野においても指導的立場で社会貢献されました。因みにアマチュア無線の日本第1号者です。

### 島田 良幸(しまだ よしゆき)様 北見クラブ



2019年9月24日逝去 享年75

1973年、北見クラブのチャーターメンバーとしてワイズメンに。以後45年以上にわたり、クラブの発展のみならず、北見YMCAの会館設立の中心的人物となり大きく貢献されました。YMCAの子供達を対象に釣りクラブをつくり、自らの所有する船に乗せてオホーツク海にて釣りを楽しむ企画を10年以上続けました。2013年度に東日本区奈良傳賞を受賞されました。

### 藤井 銀次郎(ふじい ぎんじろう)様



#### 熱海グロリークラブ

2019年11月14日逝去 享年93

1968年4月熱海クラブに入会、1984年、熱海グロリークラブにチャーターメンバーとして移籍。1985年には第8代富士山部部長に就任し、富士山部の発展に貢献されました。2008年度東日本区奈良傳賞受賞、故竹内敏朗ワイズの後を継ぎ、クラブの最高齢者として青少年の健全育成に尽力されました。51年に及ぶワイズ歴でした。

**堀口 正作(ほりぐち しょうさく)様 伊東クラブ**



2019年12月12日逝去 享年89

1976年9月、チャーターメンバーとして入会。1988年度クラブ会長、2005年度にはクラブ30周年記念の実行委員長を担われました。44年間ホーム例会に皆出席、子クラブである下田クラブへの訪問も永年にわたり皆出席されました。クラブ事業にも100%の出席率で自他共に認めるワイキチでした。

2007年度、東日本区理事特別表彰(30年以上本例会皆出席)を受賞、2015年度にはワイズメンとして最高の栄誉である「東日本区奈良傳賞」を受賞されました。

**津田 正江(つだ まさえ)様 熱海クラブメネット**



2020年1月22日逝去 享年77

1979年に津田博之(つだ ひろゆき)ワイズが熱海クラブに入会以来、当時あったメネット会に積極的に参加され若手の中心的な存在でした。メネット会が解散後も、クラブ事業のYMCA青少年キャンプやドッチボール大会には、準備の段階から女性ならではの気遣いでご協力頂きました。

ご夫婦で営んでいたクラブ『メキシコ』は、役員会、ワイワイ談議の後の二次会会場で、何時も笑顔で迎えて頂き、大変よくしていただきました。本音でワイズを語り合うワイキチ達の憩いの場でした。

**樫村 好夫(かしむら よしお)様 富士クラブ**



2020年1月19日逝去 享年84

樫村胃腸科外科医師として1988年、富士クラブ設立に参画し、文字どおり大黒柱として、第1期から3期連続でクラブ会長を務め富士クラブの基礎を築かれました。1995年には日本区時代の富士山部部長に就任、1999年、第2回東日本区大会を「新さくら丸」の船上で開催し“ワイズ起て”のスローガンのもと、実行委員長として画期的な大会を成功に導かれました。その後2003年度東日本区理事を務め、「何をしても償いは求めない」精神でワイズに多大な功績を残されました。

その後2003年度東日本区理事を務め、「何をしても償いは求めない」精神でワイズに多大な功績を残されました。

**菊間 利夫(きくま としお)様 伊東クラブ**



2020年1月27日逝去 享年55

2015年11月、伊東クラブ40周年記念例会にて入会。

誰にでも優しく真面目に接する姿勢は信頼も厚く2017、2018年度には伊東クラブの三大事業の一つ『ドッジボール大会』を担当するCS委員長を2期連続で努めるなど活躍されました。ホーム例会・各事業活動への出席率も良く、今後の伊東クラブを担う有望な会員の一人でありました。

今後の伊東クラブを担う有望な会員の一人でありました。

**石川 博(いしかわ ひろし)様 甲府クラブ**



2020年1月19日逝去 享年62

2008年、二世会員として甲府クラブに入会。近世日本文学や郷土史を専門とする高校教師という立場を活かして、例会の卓話やブリテンへの寄稿を何度もして頂きました。ブリテン委員長を担当した年度には、東日本区大会で「ブリテン最優秀賞」を受賞しました。あずさ部の共同事業の際も、甲府の歴史・古跡のガイド役を担って頂きました。本年度、甲府クラブが70周年を迎えるにあたり、記念事業の実行委員長を引き受けて下さり、これから本格的に取りかかるという矢先に病に倒れました。今後クラブのリーダーとして活躍を期待していただけに残念です。

今後クラブのリーダーとして活躍を期待していただけに残念です。

**布能 壽英(ふのう としひで)様 甲府クラブ**



2020年2月3日逝去 享年92

甲府クラブのチャーター翌年1951年2月に入会、1961年クラブ会長、1975年日本区Yサ事業主任、1986年東部部長でエルマー・クロウ賞受賞、2009年度の東日本区奈良傳賞を受賞されました。山梨YMCA関係では、1990年から99年まで常議員会議長、1999年から2004年まで理事長を務められました。また、1993年に「財団法人布能育英会」を設立し文字通り青少年の育成に貢献されました。紺綬褒章、山梨県県政功績者、キリスト教功労者顕彰などを受けられています。69年に及ぶワイズ歴で、甲府クラブや山梨YMCAにとって精神的支柱の存在でした。

甲府クラブや山梨YMCAにとって精神的支柱の存在でした。